

第2回 2020 住宅設計デザインコンテスト

COLLABORATION PLAN 2020

HOUSING DESIGN CONTEST

COLLABORATION PLAN

国立大学法人 山形大学
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
TEL: 023-628-4006
<https://www.yamagata-u.ac.jp>

株式会社 菊池技建
〒990-2481 山形市あかねヶ丘1-11-24
TEL: 023-643-7558
<https://kikuchigiken.co.jp>

章和ホーム 株式会社
〒999-2232 南陽市三間通38-1
☎ 0120-400-133
<https://www.showa-inc.jp>

HOUSING DESIGN CONTEST COLLABORATION PLAN



株式
会社

菊池技建



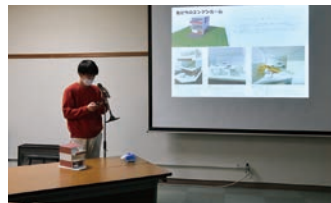
章和ホーム 株式
会社

地元工務店と連携し、山形の気候 に適した設計を学ぶ。

山形の気候・風土、生活に適した住宅のあり方を考え、
本当に快適な住まいを究める



学長定例記者会見：2020年10月1日(木) 11:00-11:45



地域の課題を解決する人材の 育成を図り地域の活性化に役

「住宅設計デザインコンテスト」は、山形大学工学部建築・デザイン学科と株式会社菊池技建(本社／山形市)、章和ホーム株式会社(本社／南陽市)と連携して行われた。同学科は、建築・デザインに関わる教育・研究を通して、世界を見すえた幅広い視野を持ちつつ地域固有の文化を理解し、地域社会の課題解決、地域産業の振興に貢献できる人材の育成を目指しており、コンテストはその一環として実施された。一方、地元工務店では、少子高齢化や若者の県外流出により深刻な人手不足に陥っている。今回のコンテストをきっかけに、学生に住宅設計の魅力を感じてもらうと共に、地元建築業界の業務内容などを知ってもらうことなどで、地域活性化の一助になることを期待した。

独創的なアイデアを磨き 実践力を身につける

今回のコンテストでは、学生たちが大学の設計製図課題で山形の気候に適した住みやすい戸建住宅の設計に挑戦した。現場をよく知る地元工務店の指導を受けながら、予算や建築条件などに配慮し、建物の魅力をどのように引き出せるか。建築業界の最前線で働くプロに接することで、実践力を身につけることも大きな狙いの一つである。

このため、作品が顧客の承認を得られた場合は、建築着工し、学生が自らの設計や現場に関わり実際の現場を経験することができる機会も設けられた。それだけに、提案者にはその地域に住む人が、その地域の自然環境のもと、その人らしく、いつまでも快適に住み続けるためのオリジナリティのあるアイデアが求められた。また、地域に新たな価値を生み出す建築物であることが望まれた。

創造力から導き出されたデザイン性・機能性・プレゼンテーション力を評価

テーマは昨年に引き続き「山形に住む」が設定された。日本は国土は狭いが、地域により気候条件や文化・風土がかなり異なる。これらの地域特性や環境に配慮した住宅設計は、その地で本当に快適に暮らし続ける住まいを提供するうえで不可欠な要素だ。コンテストでは、このコンセプトから導き出されたデザイン性・機能性・プレゼンテーション力を総合的に勘案して審査された。もちろん法的制限等をクリアすることは重要であるが、創造力を鍛える場とするうえからも過度の現実性は求めなかった。作品は29点提出され、プレゼンテーションや担当教授と工務店担当者の指導・審査を経て、最終審査が行われ、最優秀賞1点、各賞3点(山大・菊池・章和賞)、佳作6点が選ばれた。

最優秀賞の羽賀仁紀さん(2年)の「路地裏House」は、開放感とプライバシー、家族のコミュニケーションと機能性の両立を巧みに図り、さらに採光や季節との調和に配慮し、落ち着いた路地裏でダイナミックに住まう心地よさを再現した作品である。都心でも田舎でも通用する住まいである。今回は全体的に、「地域」を超えた自由な発想で、自身の夢や希望を膨らませた作品が多かった。実現性に欠ける点も多少見られたが、「発想力、提案力を磨く」というコンテストの目的を考えれば、十分意義ある内容であった。また、今回、特に要求はしなかったが、地域での定住・定着を図るうえで必要になるであろうSDGsへの貢献やコロナ禍で変わる新しい生活様式への対応が、幾点かのプランに盛り込まれていた。地域性とともに継続性、社会性も求められる住まいづくりの本質を認識していた点も評価したい。

住宅設計デザインコンテストスケジュール

2020年	10月 1日(木)	前半課題説明、資料収集
	10月 8日(木)	エスキス1 コンセプトイメージスケッチ(平面図・断面図)
	10月 22日(木)	エスキス2 ボリューム模型1/100
	10月 29日(木)	中間提出 一人ずつプレゼンテーションをする
	11月 5日(木)	エスキス3 平面図・断面図を1/50で作成する
	11月 12日(木)	エスキス4 模型・プレゼンテーションボードの作成
	11月 19日(木)	最終提出・学内講評会 プレゼンテーション 後半課題 課題説明
	12月 3日(木)	住宅コンペ講評会 (選抜作品についてプレゼンおよび講評会を行う)

住宅設計コンテスト — 設計条件 — テーマ「山形に住む」



下記の大学の設計製図課題で、山形の気候に適した
住みやすい戸建て住宅を設計する。

目的

- ①「住む」とは何かということを考える。
- ②動線や部屋の配置など、住宅設計の基本について学ぶ。
- ③基本設計製図で学んだ製図・模型制作の技法を応用する。

設計条件

- ①周辺環境や日照・通風を考慮する
- ②構造は自由とするが、計画内容にあわせた構造計画をする
- ③敷地の建ぺい率・容積率をもとに規模を設定する
- ④地上最高12mまで、地下を設ける場合は1階までとする
- ⑤敷地は下記の条件で設計する。なお駐車場は2台程度確保する

住民設定 ●4人家族

父・母(30代)、子供(5歳)、子供(3歳)

子育て世代の家族について、現在から将来までのライフステージの変化を想像し、山形に住むということを考慮したときにどのような住宅が提案できるか、4人家族の具体的な職業や趣味などライフスタイルを自由に設定してオリジナルのアイデアを具現化する。

山形市あかねヶ丘 ■用途地域／準住居地域
■建ぺい率／60% ■容積率／200%



About 山形大学 工学部 建築・デザイン学科



デザインから工学にわたる幅広い知識と技術を兼ね備え、地域の風土に根ざした建築設計・都市計画を追究し、他の工学分野と連携して学際領域で新たな価値を生み出す人材を養成。高等学校の文系コースから一級建築士になれる数少ない国立大学として知られる。

山形大学工学部建築・デザイン学科では、地元工務店と連携して2回目となる住宅設計デザインコンテストを実施した。同コンテストは、地域産業の振興に貢献できる人材の育成を目指す同学科と、深刻な人手不足などが続く中、住宅業界の活性化を図る地元工務店とのコラボレーションで実現したもの。同学科の生徒から、「山形に住む」をテーマに、山形の自然環境や家族の生活スタイルを考えた住まいの図面、スケッチ、模型が提出され、数回のプレゼンテーションと審査を経て、最優秀賞、山大賞、菊池賞、章和賞、佳作が選ばれた。

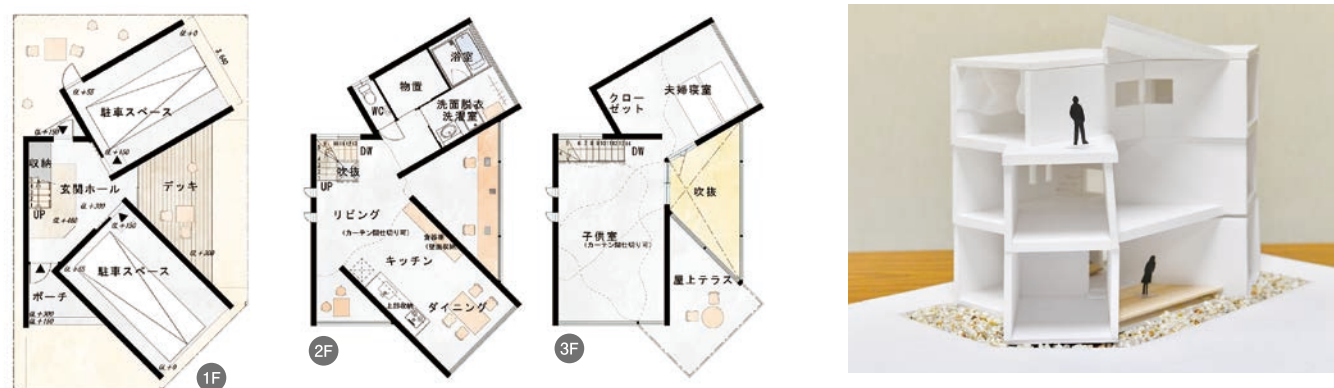
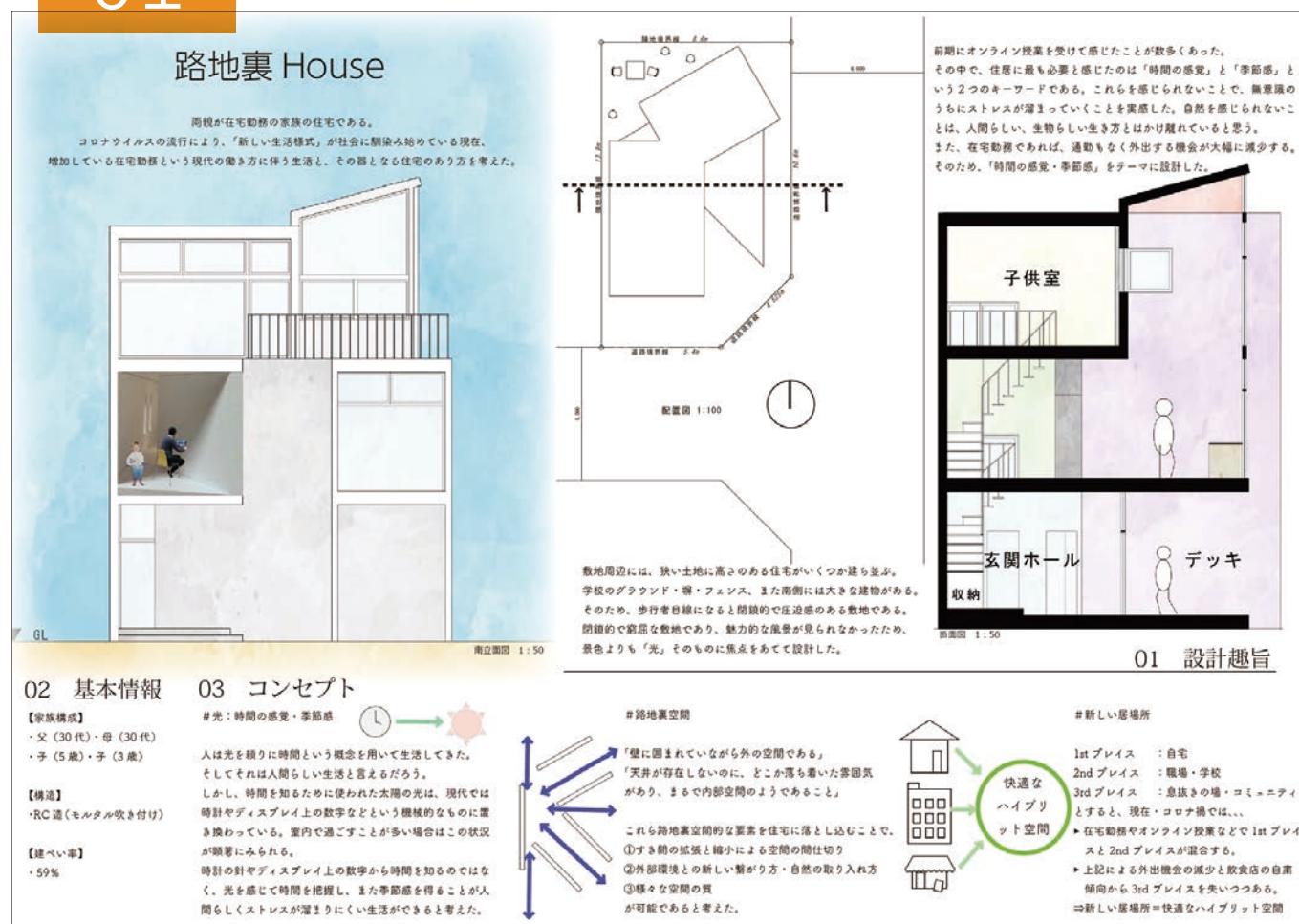
山形大学 工学部 建築・デザイン学科 教授 永井康雄さん



HOUSING DESIGN
CONTEST 2020

01

路地裏House

羽賀 仁紀さん
(建築・デザイン学科2年)

両親が在宅勤務の家族の住宅をイメージ。

コロナウイルスの流行により、「新しい生活様式」が社会に馴染み始めている現在、増加している在宅勤務という現代の働き方に伴う生活と、その器となる住宅のあり方を考えました。住居に最も必要と感じたのは「時間の感覚」と「季節感」という2つのキーワード。これらを感じられないことで、無意識のうちにストレスが溜まっていくことを実感。自然を感じられないことは、人間らしい、生物らしい生き方とはかけ離れ、さらに在宅勤務であれば、通勤もなく外出する機会が大幅に減少する。そのため、「時間の感覚・季節感」をテーマに設計しました。

プラン名 「1:2:√5の家」



Room Plan

3LDK

+車庫+SIC
+ファミリールーム
+納戸+サンルーム

■延床面積 / 138.81㎡(41.99坪)
■1F床面積 / 51.63㎡(15.62坪)
■2F床面積 / 55.92㎡(16.91坪)
■3F床面積 / 31.26㎡(9.46坪)

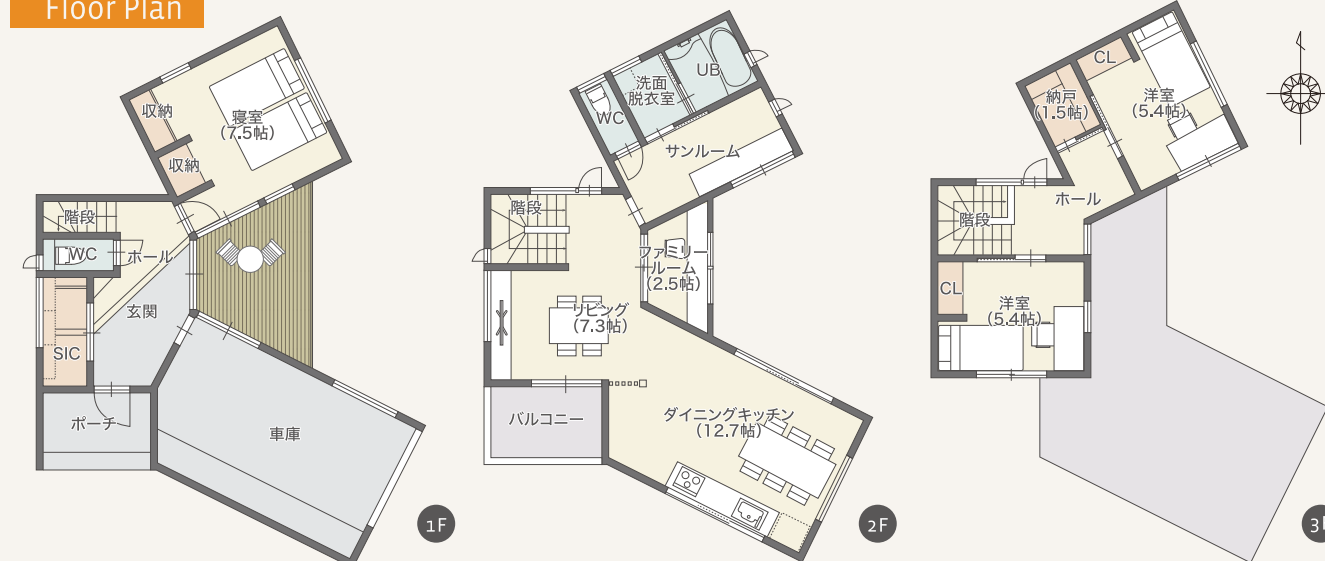
基本コンセプトはそのまま実現し、設計上の寸法やコストダウンを踏まえてアレンジした内容で商品化へ取り組みました。新型コロナの影響を加味した在宅勤務という新しいスタイルに対応した間取りで、開放感とプライバシーの確保を考慮したプランです。敷地条件が34坪という中で三階建の建物にダイナミックなデザインで創出した広がりや路地裏間の外部空間が魅力的でした。2つの要素を同時に叶えた正にハイブリット空間を実現した間取りです。1:2:√5のコンセプトは斜めの角度を出すために計算した長さを表していますが、この角度は屋根で言う5寸勾配の設計で使う長さであり、タイトルに入らせて頂きました。

Produced by 株式会社 菊池技建



※内観写真はイメージです。

Floor Plan



住宅設計デザインコンテスト 受賞作品 山大賞

HOUSING DESIGN
CONTEST 2020

02

Galleria



ギャラリーと住宅を一体化。

写真を生業とする父親とその家族が住むギャラリー一体型住宅。山形県産の金山杉を炭化させた外壁に目を止め、誘い込むような形状により自然とギャラリーに足を踏み入れるようにプランニングしました。



吉田 陸さん
(建築・デザイン学科2年)

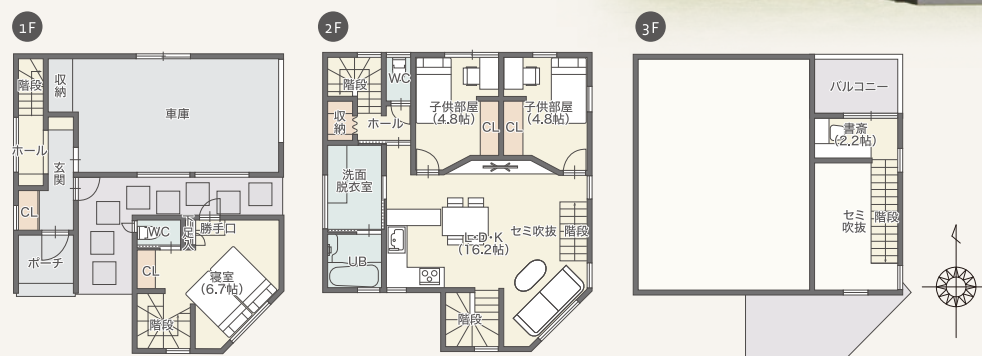


山大賞のプランを工務店がアレンジ

プラン名 ギャラリーの家

こちらは表現力が面白く、外部空間にギャラリーという面白いアイディアをカタチにしております。このプランからコストも考慮して形を変えながら、ギャラリー空間を内部と外部をうまく表現されている点を活かして商品化へ持ってきました。参考モデルとしてそのままカタチにはなっていませんが、大きな趣旨を変えずにプランの変更をしながら商品化として作成しました。

Produced by 株式会社 菊池技建



Room Plan

3LDK + 車庫 + 書斎 + 吹抜

- 延床面積 / 129.19㎡ (39.08坪)
- 1F床面積 / 62.94㎡ (19.04坪)
- 2F床面積 / 66.25㎡ (20.04坪)

住宅設計デザインコンテスト 受賞作品 菊池賞

HOUSING DESIGN
CONTEST 2020

03

DIY



コロナ禍での時間の使い方

新型コロナウイルスの流行。感染防止のため接触を減らし、社会的距離を保つ。仕事のリモート化が進む一方、私生活は閉鎖的に。自然と家にいる時間が増えた。何か家の中で出来ることはないか？長く楽しめるものは…。そうだDIYしよう！『そんな家族が住宅を建てたら』をテーマに設計しました。



川原 聖人さん
(建築・デザイン学科2年)

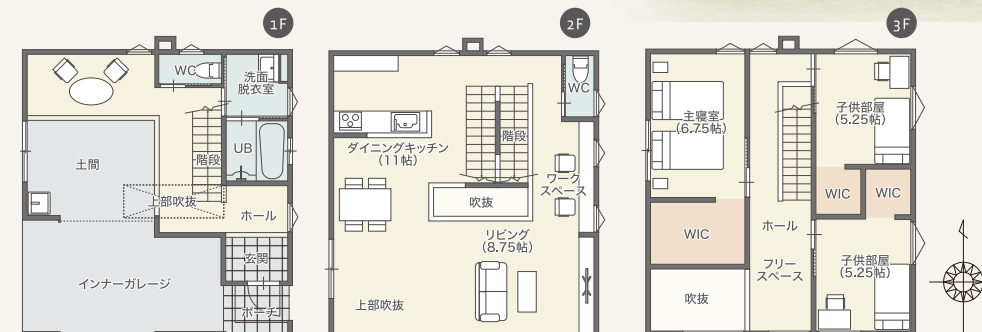


菊池賞のプランを工務店がアレンジ

プラン名 DIYを楽しむ家

DIYの趣味を持つ家族が楽しむ1階の作業エリア。気の合う仲間が集まればコミュニティスペースとしても楽しめる空間です。また作業後すぐに入浴ができるよう浴室は同じフロアーに設置しました。1階から3階まである吹き抜けは、製作した作品を居住スペースに運ぶための役割と家全体に心地よい風を与えてくれます。2階にはワークスペース、3階にはフリースペース兼サンルームがあり住む家族の自由な空間としての役割を果たしてくれます。家族で製作した作品のギャラリーとしても楽しめそうです。

Produced by 株式会社 章和ホーム



Room Plan

3LDK

+ インナーガレージ + 土間 + 吹抜 + リビング階段 + ワークスペース + フリースペース + 兼サンルーム + WIC

- 延床面積 / 142.93㎡ (43.23坪)
- 1F床面積 / 37.43㎡ (11.32坪)
- 2F床面積 / 53.99㎡ (16.33坪)
- 3F床面積 / 51.51㎡ (15.58坪)

住宅設計デザインコンテスト 受賞作品 章和賞

HOUSING DESIGN
CONTEST 2020

04

やねにわのいえ



アウトドア好きな家族のための家

アウトドア好きな家族のために、大きな庭、ウッドデッキ、カーポートを備えた家。庭はガーデンデザイナーの奥様、ウッドデッキは旦那様のリクエストをイメージ。屋根でもあり、庭でもある最上階は家のシンボルとして設計しました。



阿部 愛永さん
(建築・デザイン学科2年)



■審査会/2020年12月3日(木) ■講評会・表彰式/2020年12月3日(木) ■審査員/●山形大学工学部 建築・デザイン学科 教授:永井 康雄
●山形大学工学部 建築・デザイン学科 教授:三辻 和弥 ●山形大学工学部 建築・デザイン学科 助教:濱 定史 ●㈱菊池技建 代表取締役:菊池 幸生
●章和ホーム(株) 代表取締役:川井 秀智 ■最優秀賞1点 ■山大賞1点 ■菊池賞1点 ■章和賞1点 ■佳作6点

幅広い視野を身につける絶好の機会です。

山形大学 工学部 建築・デザイン学科 教授 永井 康雄

大学に入学して図面の書き方や読み方などの基本的な知識を身に付けた後、最初に取り組む設計課題です。敷地と家族構成などの基本的な設計条件が示されるだけで、いわば無から有を作り出す作業です。これは高校までの学習と大きく異なる点です。しかも山形で数多くの実績を有する地元工務店から提供された実際の敷地と家族構成(注文主)です。臨場感に溢れ、建築とは何か、設計とは何かということを十二分に考えさせられたと思います。大学教育の観点のみならず、建築業界からの視点に触れることは、学生にとって幅広い視野を身につける絶好の機会になったと思います。第二回目となる今年も、「山形に住む」ことについて学生らしい様々な角度から提案された作品が提出されました。



課題を通じてお互いに学び続ける場にしていきたい。

株式会社 菊池技建 代表取締役 菊池 幸生

今回は新型コロナ禍を意識したプランも出されました。斬新さを感じるアイデアもあれば、現実を直視したプランもあり、自由な発想から生まれたユニークな作品が数多く提案されました。商品化へはどうしてもコストが重視されますが、学生さんの豊かな発想を、課題を通じて形にしたプラン等で学びながら、解決策を探り、今後の新たな住まいづくりに活かしていきたいと考えています。このような形で互いに学び続け、地域の産業や快適な暮らしの創造に貢献していければいいなと感じております。



今の夢を大切にしながら挑戦し続けて欲しい。

章和ホーム 株式会社 代表取締役 川井 秀智

完成度の高さにばらつきがありましたが、全体的に住む人に思いをしっかりと伝えたいという熱意は感じました。「山形に住む」を一步踏み込んで、地域での新しい暮らし方を創造・提案する作品が多かったですね。構造的な不十分さもありましたが、形に捉われないことが創造力の源泉になることを考え、自由な発想を評価しました。現在の住宅・建築事業で求められている環境共生の実現や、AFTERコロナを考えた住宅スタイルなど、新しいスタンダードに挑戦している姿も見られ頼もしく感じました。今の夢を失わずに技術を磨き、山形の建築業界で活躍していただけることを期待しています。

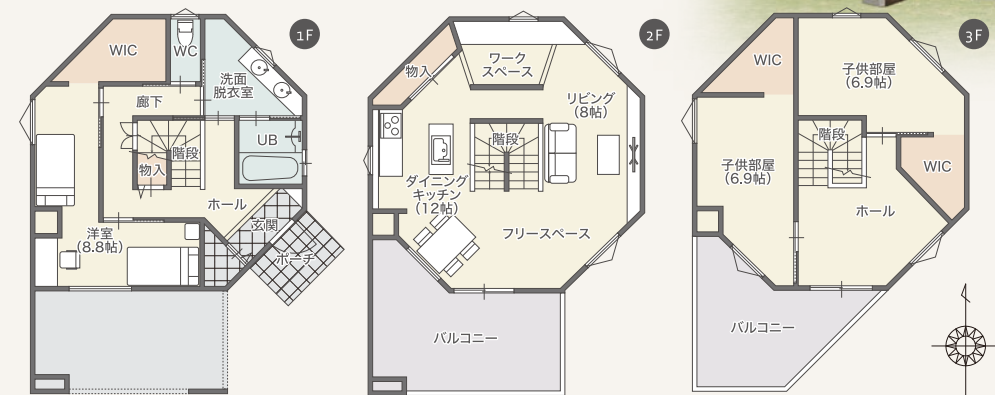


章和賞のプランを工務店がアレンジ

プラン名 やねにわのいえ

季節を感じながら好みに合ったガーデニングを楽しめるガーデンバルコニー、子供たちが裸足で元気に遊べる大きなウッドデッキバルコニー。アウトドア好きな家族が楽しめるスペースがたくさん。2階にあるLDKとフリースペース、ワークスペースは家族同士の顔が見えやすい位置にあり、つながりをや気配を感じることができる空間になっています。3階にもフリースペースがあり、様々なシーンで活躍してくれそうです。

Produced by 章和ホーム 株式会社



Room Plan

3LDK

+ガーデンバルコニー
+ウッドデッキバルコニー
+リビング階段+ワークスペース
+フリースペース+WIC

■延床面積/135.11㎡(40.87坪)
■1F床面積/ 46.50㎡(14.07坪)
■2F床面積/ 44.47㎡(13.45坪)
■3F床面積/ 44.14㎡(13.35坪)



参考モデルプラン
やねにわ
のいえ

会社紹介

株式会社 菊池技建

みんなが笑顔になる、よい「いえづくり」。

新築住宅はもちろん、住宅リフォームや修繕工事、アパートマンションなどの集合住宅も。お施主様の理想にしっかり寄り添い「よいいえ」を共につくります。そして「住んでから」が本当のお付き合い。家は家族の安らぎの場所であり、家族が増えたり成長したり、長い時を超えて暮らしの中心となるところです。だからこそ、家を建てる事だけを目標とはせず、家族にとって「本当によいいえとは何か」を考えその先の人生にも寄り添い続ける家づくりにこだわります。



Website



山形市あかねヶ丘1-11-24
TEL:023-643-7558
<https://kikuchigiken.co.jp>

株式会社 章和ホーム

小さいころ憧れた「夢ある家」。

小さいころ憧れた「夢ある家」。そんなお住まいづくりが私達のかかわりです。将来の暮らし方、生活設計に配慮し、ものづくりに対し真剣に向き合いお客様のライフスタイルに合わせた質の高い空間を実現するため、1棟1棟丁寧にサポート、ご提案致します。弊社はお客様の視点に徹し地元密着を心掛け、人と人との繋がりを大切にし地域NO.1を目指して業務に取り組んでいます。



Website



南陽市三間通38-1
☎0120-400-133
<https://www.showa-inc.jp>



SOTO TO UCHI

佐々木由紀さん（建築・デザイン学科2年）



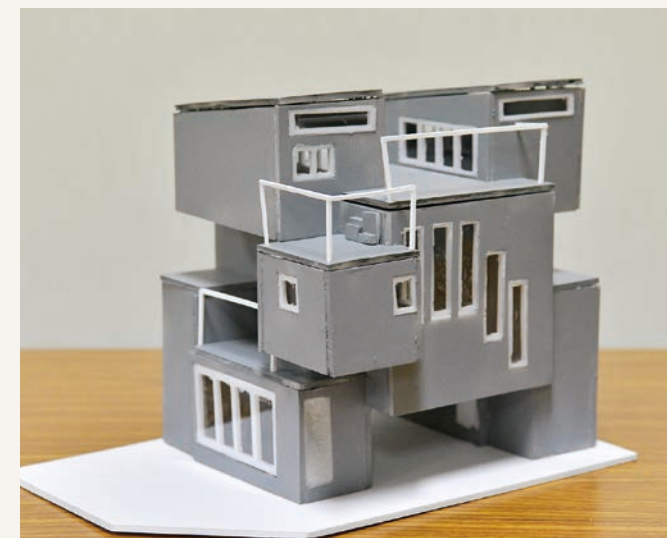
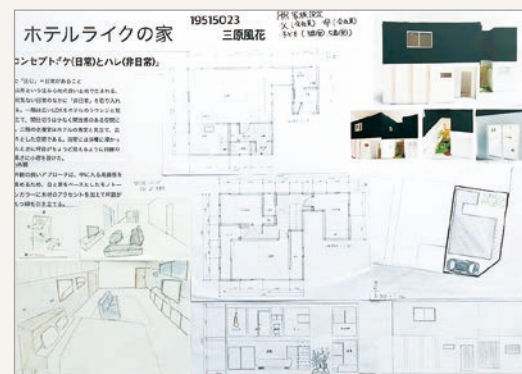
トモネの家

高橋 蓉さん（建築・デザイン学科2年）



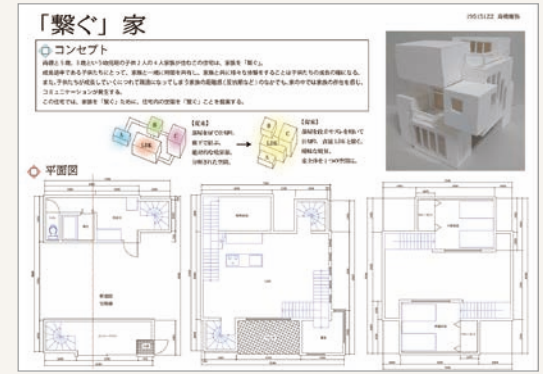
ホテルライクの家

三原 風花さん（建築・デザイン学科2年）



繋ぐ家

高橋 雅弥さん（建築・デザイン学科2年）



私たちのエンジンルーム

中川 輝人さん（建築・デザイン学科2年）



Flow Line

足立 好実さん（建築・デザイン学科2年）



HOUSING DESIGN
CONTEST 2020

05

Flow Line



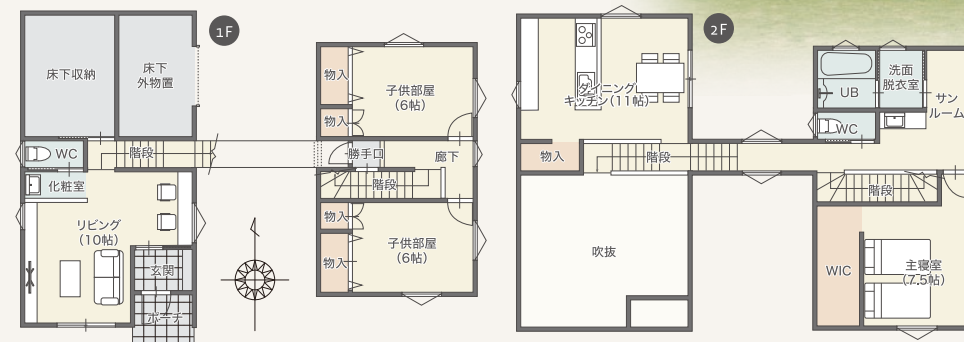
動きを感じられる家

玄関に入ってすぐリビングが見えるようにすることにより子供が帰ってきたときに顔を合わせることができる。子供が成長した時にも会話を作り出せるように設計しました。棟を二つに分けることでみんなで集まる空間とプライベートな空間を分けています。建物内には半地下や空中階段などの遊び心も詰め込みました。

足立 好実さん
(建築・デザイン学科2年)佳作のプランを工務店がアレンジ
プラン名 動きを感じられる家

帰宅した家族の顔が見え会話を作り出すリビング。天井の吹き抜けが住む家族に開放的な空間を与えてくれます。遊び心のある空中階段でつながった2つの棟。2棟に分けることで家族みんなのスペースやゲストスペース、家族1人1人のスペースにメリハリがつきプライベートな時間も大切にできます。大容量の広い床下収納庫は、室内からだけでなく屋外からも使うことができ、外物置としても重宝しそうです。

Produced by 章和ホーム株式会社



Room Plan

3LDK

+リビング階段+吹抜

+床下収納庫+サンルーム+WIC

■延床面積 / 121.32㎡ (36.70坪)

■1F床面積 / 57.97㎡ (17.54坪)

■2F床面積 / 63.35㎡ (19.16坪)

参考モデルプラン
Flow
LineHOUSING DESIGN
CONTEST 2020

06

ホテルライクの家



日常と非日常

何気ない日常のなかに「非日常」を取り入れました。1階は広いLDKをホテルのラウンジと見立て、間仕切りは少なく開放感のある空間に。2階の主寝室はホテルの客室と見立て、広々とした空間に。浴室には浴槽に浸かるときに坪庭がちょうど見えるように目線の高さに小窓を設けました。

三原 風花さん
(建築・デザイン学科2年)佳作のプランを工務店がアレンジ
プラン名 選べるホテルライクの家

学生のコンセプトをもとに、普通の生活動線、使い勝手、無駄な空間をなるべく作らないように配慮しつつ、「非日常」を取り入れられるように間取りを調整。ホテルの部屋を選ぶ様に、外形は変えず間仕切りをアレンジして、お客様オリジナルのホテルライクの家になるように、かつ商品化を意識したプラン。

Produced by 株式会社 菊池技建

2Fパターン①の場合

4LDK

+書斎+サンルーム
+WIC

2Fパターン②の場合

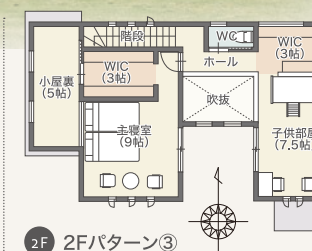
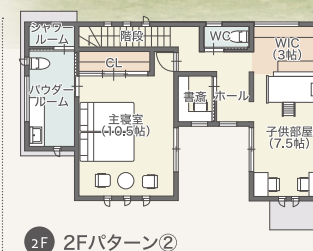
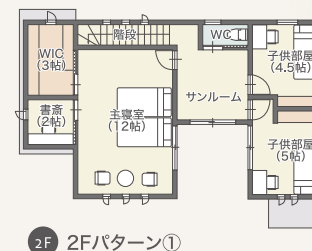
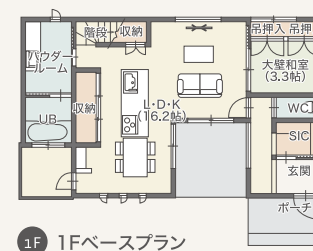
3LDK

+書斎+WIC
+パウダールーム

2Fパターン③の場合

3LDK

+小屋裏+WIC×2

参考モデルプラン
ホテル
ライクの家

HOUSING DESIGN CONTEST

Other

住宅設計デザインコンテスト
その他応募作品

